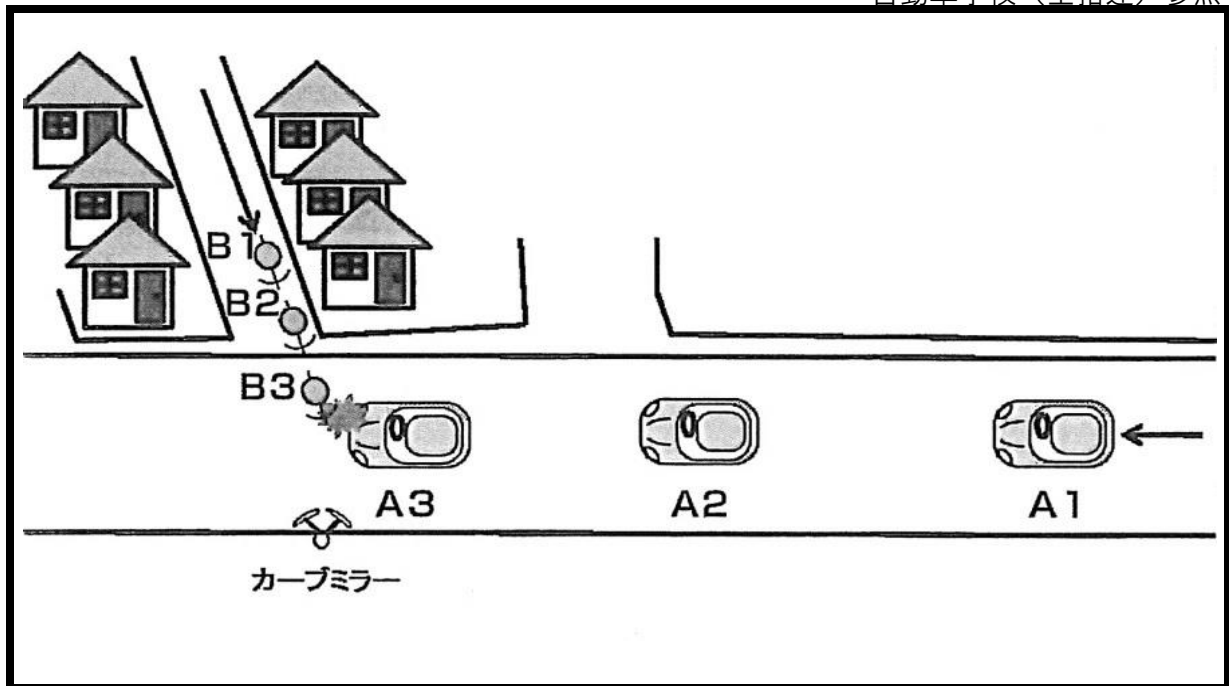


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：出会い頭

発生日時：11月 午後2時台 曇り

当事者A：普通乗用車 20歳代 男性

当事者B：自転車 小学生 男性

■ 事故の概要

Aは、買い物に行くため、自宅近くの前方の見通しはよいが路地等のある右側の見通しが悪い往復1車線道路を、右方の安全確認をせず遠方を見ながら走行していました。カーブミラーのある路地にさしかかったところで、進路右前方の路地から子供の自転車が飛び出してくるのを発見し、急制動しましたが、間に合わず衝突しました。

Bは、学校で友達と遊ぶ約束をしていたので、帰宅後直ぐ自転車に乗り友達の家に向かい、早く遊びたい気持ちから安全確認をせず車道へ飛び出してしまいました。

■ 事故から学ぶ

事故現場はAの自宅付近であり、あらかじめ見通しが悪い路地ということを知っていたはずですが、カーブミラーも設置されているのですから、カーブミラーを活用して安全を確認した上で、交差点手前から適宜速度を調節し、通過すべきでした。

また、仮に初めて通る道だったとしても事故現場に至る間、住宅街であるとか、付近に幼稚園や小学校、児童の姿を見かけているなら、その近くの路地から児童が飛び出してくる可能性があることを予測すべきであり、路地に対する注意が足りなかったといえます。

子供は、夢中になると周りのものが見えなくなりがちなので、大人たちが見守る必要があります。